

ロング・ウィリス (Frances Armstrong-wills) 夫人から萩原氏に託されたものである。その内容を見ると、ウィリスから開業医である長兄ジョージ (George) やその夫人フアニー (Fanny) にあてた書簡がその大半を占め、その他京都や越後、会津、鹿児島などでの治療記録、契約書、意見書などが含まれている。

*久志本欣也氏のご希望により左記の複製本を作成し、順天堂大学医学史研究室に保存された。

管蠹草灸診抄 家傳退髻聚驗方 全
 五急活法 一流大事法
 椒煉要法 管蠹備急方 卷之上・中・下
 (順天堂大学医学史研究室)

第38回医学史研究会 合同総会
 日本医学史学会関西支部(一九九八年秋季)

とき 一九九八年十一月十四日〜十五日
 ところ 大阪市立大学医学部・中講義室
 (大阪市阿部野区旭町一丁目)

〔第一日〕(午後一時より)

I. 要望課題・日本占領時の医療推移

シンポジウム・
 1. 総論・占領時の生活と健康 水野 洋
 (勤労者健康サーピスセンター)

2. 占領時の医学教育改革(医学校の場合)
 神谷 昭典(瀬戸市)

3. 占領時の労働衛生(GHQ労働政策に関連して)
 野村 茂(労働科学研)

4. ABCCの歴史
 上野 陽里(京大名誉教授)

5. 占領時の看護制度
 長門谷洋治(豊中市)

6. 占領時の医療改革
 杉山 章子(青森大学)

I. 一般演題①

1. ロイアルコレジオオブフィジシアンズ再訪
 栗本 宗治(大阪医大)

2. 香港、マカオの医史跡
 石田 純郎(新見女子短大)

3. 富山県内にみられるヒポクラテス画幅とその贊について
 正橋 剛二(富山市)

4. 『言経卿記』中の医療、特に本願寺関係について
 中山 沃(西宮市)

II. ミニ特別講演1

幕末在郷医の診療記録から―医師田中寛治郎の場合
 森田 康夫(檜蔭東女子短大)

ミニ特別講演2
 人体内景図における脂膏、脂腹、脂膜と臍臓
 高島 文一(京都市)

III. 見学

(市大医・展示室…あべのメディックス6階
 田中家弥生園の医学)

IV・挨拶
大阪市立大学医学部長 大谷 周造

V・一般演題②
5. 看護用心鈔とターミナルケア 杉田 暉道 (逗子市)

6. 儒学者朝川善庵にあてた水戸徳川家医官の書簡

茅原 弘 (津 市)

7. 神経解剖学者上坂熊勝について

寺畑 喜朔 (高岡市)

VI・特別講演

山本宣治の生涯

友吉 唯夫 (滋賀医科大学教授・豊郷病院院長)

VII・一般演題③

8. 宇和島藩医谷蘭畹の長男・谷泰吉について―特に府立

大阪病院廃止事件(明治22年3月)における関わりから―

谷 莊吉 (小松病院)

9. 若き結核医 松田道雄 小松 良夫 (小松病院)

10. 大正四年北里研究所での志賀潔らの講義録 田中 祐尾 (大阪市大)

昨年に続き今回も田中祐尾先生のご配慮で新装の大阪市立
大学医学部本館を提供いただき、医学部・第一外科などのご
協力・ご援助を得て快適で充実した会を持つことができました。

(長門谷 洋治)

例会記録

六月例会 平成十年六月二十七日(土)

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、『医心方』に引用される道書・仏書の同定―『枕中記』

『仏説療痔病経』ほか ○荒尾 敏雄・小曾戸 洋

一、大田錦城と医学の接点 町 泉寿郎

一、十九世紀末ドイツのベルリン学派によるヒプルギー (Hypnogie、看護療法) について 平尾真智子

九月例会 平成十年九月二十六日(土)

神奈川県保険医協会

神奈川地方会第十三回学術大会と合同会

一、看病用心鈔とターミナルケア 杉田 暉道

一、金沢文庫新出の古医書について 真柳 誠

特別講演 「看取りの文化とその歴史」 新村 拓

ミニシンポジウム

(日本学術会議「医史・医哲学研究連絡委員会共催」)

「日本における医史料の保存について」

井出 研 (神奈川県予防医学協会理事)

松木 明知 (弘前大学医学部教授)

酒井 シツ (順天堂大学医学部教授)

十月例会 平成十年十月二十四日(土)